

|   |  |      |             |   |                         |          |     |    |
|---|--|------|-------------|---|-------------------------|----------|-----|----|
| 授業科目  | 疾病診断治療学Ⅱ (Aクラス)  |      |             |   | 単位                      | 2        |     |    |
| 履 修   | 選択   | 関連資格 | 管理栄養士 栄教一種免 |   | ナンバリング                  | NT21207J |     |    |
| 開講年次  | 2  | 開講時期 | 後期          | 該当DP  | DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-2 |          |     |    |
| 担当教員  | 高崎 智子  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 授業概要  | <p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、長年病院に勤務した医師としての臨床経験を活かし、授業を行う。</p> <p>疾病診断治療学Ⅰに続き、人体の生化学的な機能異常に基づく代表的な疾患について、食物、栄養との関連に留意して概説する。チーム医療の一員として、栄養士、管理栄養士に必要な基礎的な医学知識および考え方の修得を目標とする。特に生活習慣病については、その食事療法の基礎となる病態生理学および病態生化学的考え方について解説し、高血圧、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム、内分泌・代謝疾患、感染症などの代表的疾患について、その成因、症状、診断、治療について概説する。また、高齢化社会において健康寿命を延ばすための栄養学的知識について解説する。</p> |      |             |   |                         |          |     |    |
| 学生が達成すべき行動目標  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 疾病診断治療学Ⅰにおいて学んだ基礎知識を基に、各疾患の病因・病態を系統的に理解し、説明できる。</li> <li>2. 各疾患におけるガイドラインやEBMに基づいた診断・治療法を説明できる。</li> <li>3. 各疾患の身体所見・検査所見・食事療法を含めた治療法を説明できる。</li> <li>4. 各疾患で用いる薬剤の副作用、手術の合併症について説明できる。</li> <li>5. 栄養学の専門家として、他の保健・医療従事者と連携・協働する方法を説明できる。</li> </ol>  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 達成度評価   |  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 評価と評価割合／<br>評価方法  | 試験   | 小テスト | レポート        | 発表(口頭、プレゼンテーション)  | レポート外の提出物               | その他      | 合計  | 備考 |
| 総合評価割合  | 80   | 10   | 0           | 0   | 0                       | 10       | 100 |    |
| 知識・理解 (DP1-1)   |  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 知識・理解 (DP1-2)   | 60   | 5    |             |   |                         |          | 65  |    |
| 知識・理解 (DP1-3)   |  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 知識・理解 (DP1-4)   |  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 思考・判断 (DP2-1)   | 20   | 5    |             |   |                         |          | 25  |    |
| 思考・判断 (DP2-2)   |  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 関心・意欲 (DP3-1)   |  |      |             |   |                         | 5        | 5   |    |
| 関心・意欲 (DP3-2)   |  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 態度(DP4-1)   |  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 態度(DP4-2)   |  |      |             |   |                         | 5        | 5   |    |
| 態度 (DP4-3)  |  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 技能・表現 (DP5-1)   |  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 技能・表現 (DP5-2)   |  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 技能・表現 (DP5-3)   |  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 具体的な達成の目安   |  |      |             |   |                         |          |     |    |
| 理想的レベル  |  |      |             | 標準的なレベル   |                         |          |     |    |
| 標準的なレベル 1～4 をすべて達成した上で、<br>5. 他の保健・医療従事者と連携・協働する方法を説明できる。 |  |      |             | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各疾患の病因・病態を説明できる。</li> <li>2. 各疾患におけるガイドラインやEBMに基づいた診断・治療法を説明できる。</li> <li>3. 各疾患の身体所見・検査所見・食事療法を含めた治療法を説明できる。</li> <li>4. 各疾患で用いる薬剤の副作用、手術の合併症について説明できる。</li> </ol> |                         |          |     |    |
| 授業計画  |  |      |             |   |                         |          |     |    |

| 進行 | テーマ・講義内容  | 授業の運営方法                              | 学習課題(予習・復習)  | 予習・復習時間(分) |
|----|---|--------------------------------------|--|------------|
| 1  | テーマ:生活習慣病(メタボリックシンドローム)<br>メタボリックシンドロームを中心に生活習慣病の病因・病態について解説する。     | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:なし<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。                        | 0<br>30    |
| 2  | テーマ:肥満・るいそう<br>肥満・るいそうの病因・病態について解説する。                               | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。 | 30<br>30   |
| 3  | テーマ:脂質異常症<br>脂質異常症の病因・病態・診断・治療について解説する。                             | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。 | 30<br>30   |
| 4  | テーマ:糖尿病 1<br>糖尿病の病因・病態・診断について解説する。                                  | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。 | 30<br>30   |
| 5  | テーマ:糖尿病 2<br>糖尿病の治療・糖尿病性腎症等の合併症について解説する。                            | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。 | 30<br>30   |
| 6  | テーマ:代謝性疾患<br>痛風、ビタミン欠乏症、先天性代謝異常症の病因・病態・診断・治療について解説する。               | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。 | 30<br>30   |
| 7  | テーマ:内分泌疾患<br>甲状腺疾患等、内分泌疾患の病因・病態・診断・治療について解説する。                      | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。 | 30<br>30   |
| 8  | テーマ:血液疾患<br>貧血、白血病、凝固異常の病因・病態・診断・治療について解説する。                        | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。 | 30<br>30   |
| 9  | テーマ:免疫・アレルギー疾患<br>アトピー性皮膚炎・花粉症等のアレルギー疾患、自己免疫疾患の病因・病態・診断・治療について解説する。 | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。 | 30<br>30   |
| 10 | テーマ:感染症 1<br>種々の感染症の病因・病態・診断・治療について解説する。                            | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。 | 30<br>30   |
| 11 | テーマ:感染症 2<br>種々の感染症の病因・病態・診断・治療について解説する。                            | レジュメプリントを配布し、スライドを                   | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。                                   | 30<br>30   |

|               |  |                                      |  |          |
|---------------|--|--------------------------------------|--|----------|
|               |  | 利用した講義と、小テストを実施する。                   | 復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。                                 |          |
| 12            | テーマ:骨疾患<br>骨粗鬆症、くる病、骨軟化症等の病因・病態・診断・治療について解説する。   | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。 | 30<br>30 |
| 13            | テーマ:神経疾患<br>脳卒中、パーキンソン病等の病因・病態・診断・治療について解説する。  | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。 | 30<br>30 |
| 14            | テーマ:高齢者の疾患<br>認知症、フレイル等の高齢者疾患について解説する。   | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。 | 30<br>30 |
| 15            | テーマ:妊産婦の疾患・小児の疾患<br>妊産婦の貧血、糖尿病、高血圧等について、および小児の肥満、糖尿病等について解説する。                                       | レジュメプリントを配布し、スライドを利用した講義と、小テストを実施する。 | 予習:テキストを読み、学ぶべき点や疑問点を整理してくる。<br>復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、理解する。 | 30<br>30 |
| 16            |  |                                      |  |          |
| 17            |  |                                      |  |          |
| 18            |  |                                      |  |          |
| 19            |  |                                      |  |          |
| 20            |  |                                      |  |          |
| 21            |  |                                      |  |          |
| 22            |  |                                      |  |          |
| 23            |  |                                      |  |          |
| 24            |  |                                      |  |          |
| 25            |  |                                      |  |          |
| 26            |  |                                      |  |          |
| 27            |  |                                      |  |          |
| 28            |  |                                      |  |          |
| 29            |  |                                      |  |          |
| 30            |  |                                      |  |          |
| 理解に必要な予備知識や技能 | 疾病診断治療学Ⅱは、これまで学んできた解剖生理学、生化学、病理学、疾病診断治療学Ⅰを基に、管理栄養士として必要な臨床医学の知識を学ぶものである。したがって、これらの科目を理解しておくことが必要である。 |                                      |  |          |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| テキスト                  | 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学 疾病の成り立ち 第3版」 田中明、藤岡由夫 編 (羊土社)<br>「糖尿病治療ガイド 2020-2021」 日本糖尿病学会 編・著 (文光堂)                               |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 参考図書：<br>「臨床医学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」 羽生大記、河手久弥 編 (南江堂)<br>「なるほどなっとく! 病理学 plus」 小林正伸 著 (南山堂)<br>教材： 必要に応じて、スライド資料を配付する。       |
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ  | 1. 授業で配布されたレジュメに、大事な内容をメモし、ノートとして利用する。<br>2. 教科書やレジュメからサブノートを作る。<br>3. 疑問点を図書館やインターネットで調べる。<br>4. 関連する国家試験問題を解いて知識を定着させる。 |
| 達成度評価に関するコメント         | 試験、小テストの内容については、授業の中で指示する。<br>評価における「その他」とは、欠席しない、私語をしない、質問をする、などの授業態度によって授業への関心・意欲を評価することを意味する。                          |